



# 「創薬支援ネットワークの活動状況」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

平成30年3月30日



1.	活動実績	P2
2.	期間別実績	P3
3.	支援テーマ	P4-6
4.	導出テーマ	P7
5.	支援終了テーマ	P8
6.	支援期間が2年以上のテーマの取扱い	P9
7.	報告事項	P10-14

# 1. 活動実績

## 1. シーズ評価と創薬支援（平成30年2月末時点）

達成すべき成果目標 ＜KPI項目※1＞	創薬支援ネットワークの 活動実績（前回値）	2020年までの 達成目標
相談・シーズ評価※1	<b>1068件</b> （960件）	1500件
有望シーズへの 創薬支援※2	<b>83件</b> （70件）	200件
企業への導出 （ライセンスアウト）	<b>3件</b> ※3（2件）	5件

※1 : 創薬ナビに申込みのあったもの（平成30年2月末時点で重複するもの：139件）及び、戦略推進部が所管する事業のうち、28年度後期以降に書類審査通過した「次世代がん医療創成研究事業」、「難治性疾患実用化研究事業」、及び「革新的がん医療実用化研究事業」（235件）を含む。

※2 : 支援を終了しているテーマ（22件（うち企業へ導出されたテーマ3件））を含む。

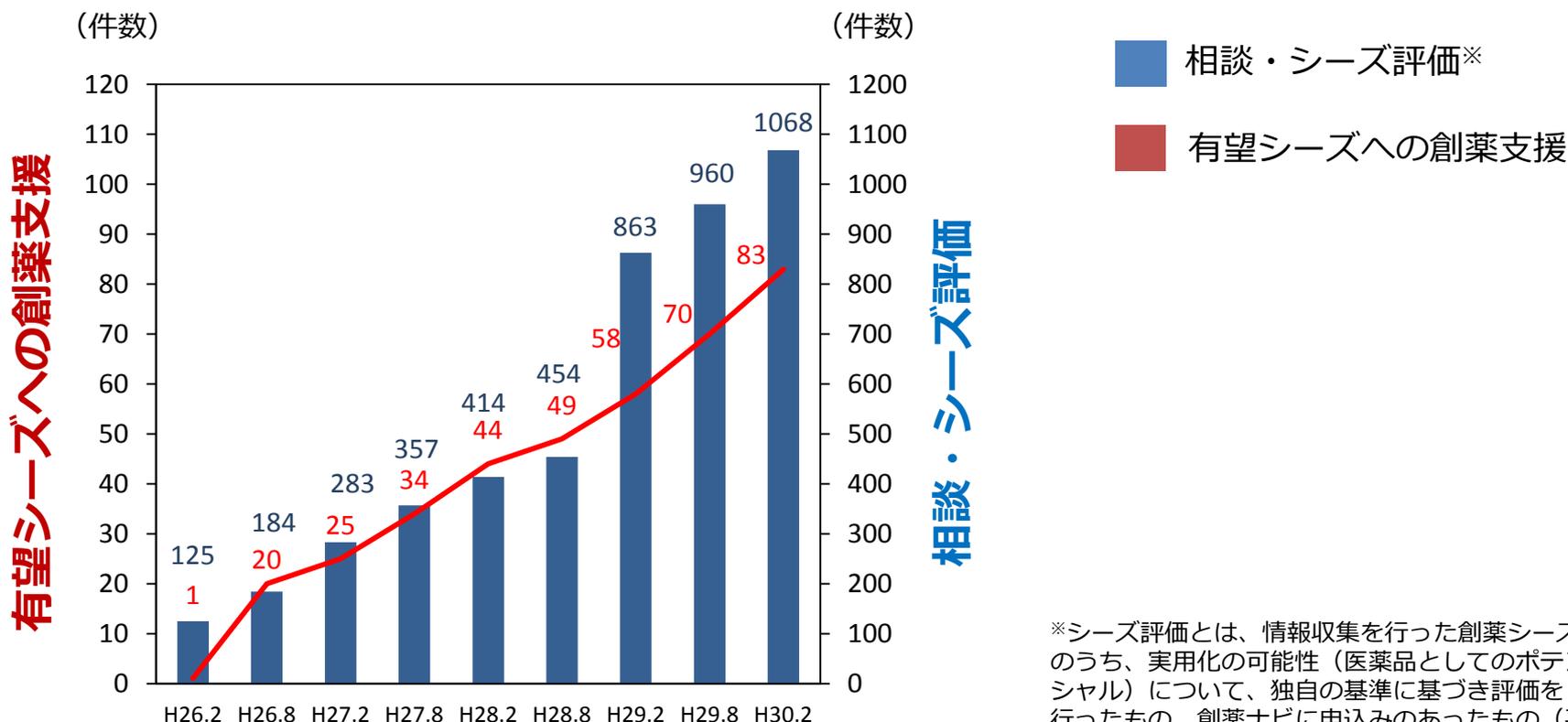
※3 : この他、3月末に追加で1件導出予定（詳細は資料7ページに記載）。

**2. 創薬ナビ 申込 163件（平成30年2月末時点）**

**3. 創薬アーカイブ 登録 37件（平成30年2月末時点）**

## 2. 期間別実績

### 「相談・シーズ評価」及び「創薬支援」の期間別実績（平成30年2月末時点）



※シーズ評価とは、情報収集を行った創薬シーズのうち、実用化の可能性（医薬品としてのポテンシャル）について、独自の基準に基づき評価を行ったもの。創薬ナビに申込みのあったもの（平成30年2月末時点で重複するもの：139件）及び、戦略推進部が所管する事業のうち、28年度後期以降に書類審査通過した「次世代がん医療創成研究事業」、「難治性疾患実用化研究事業」、及び「革新的がん医療実用化研究事業」（235件）を含む。

## 3. 支援テーマ (61/83件)

### 創薬支援ネットワークの支援テーマ

(平成30年2月末時点)

課題番号	課題名	Principal Investigator (PI)	モダリティ	標的実用化検証	スクリーニング	リード最適化	前臨床開発
DNW-14025	HSVワクチンの探索	川口 寧 (東京大学医科学研究所)	ワクチン				
DNW-14030	HCMVワクチンの探索	白木 公康 (高山大学大学院医学薬学研究所)	ワクチン				
DNW-15002	硫酸抱合型尿毒症物質の産生阻害による腎障害治療薬の探索	齋藤 秀之 (熊本大学医学部附属病院)	低分子化合物				
DNW-15003	NF-κB標的遺伝子の発現を阻害する抗がん剤の探索	伊庭 英夫 (千葉大学真菌医学研究センター)	低分子化合物				
DNW-15010	小胞体ストレスを標的とする糖尿病治療薬の探索	親泊 政一 (徳島大学先端酵素学研究所)	低分子化合物				
DNW-16003	インスリン抵抗性を改善する経口糖尿病治療薬の探索	野田 昌晴 (基礎生物学研究所)	低分子化合物				
DNW-16004	網膜疾患治療薬の探索	尾崎 拓 (若手大学理工学部)	低分子化合物				
DNW-16006	筋萎縮症の新規治療法の探索	堀 正敏 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	低分子化合物				
DNW-16007	難治性乳がんの新規抗がん剤の探索	島田 緑 (山口大学共同獣医学部)	低分子化合物				
DNW-16008	てんかん治療薬開発に向けた新規標的分子の探索	井上 剛 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)	低分子化合物				
DNW-16009	パーキンソン病治療薬シードの探索	井本 正哉 (慶應義塾大学理工学部)	低分子化合物				
DNW-16012	腹膜播種に特化した新たな胃癌分子標的医薬の探索	神田 光郎 (名古屋大学大学院医学系研究科)	核酸				
DNW-16014	結核菌必須遺伝子を標的にした抗結核薬の探索	松本 壮吉 (新潟大学大学院医歯学総合研究科)	低分子化合物				
DNW-17001	新規精神・発達障害治療薬の探索	辻村 啓太 (名古屋大学大学院医学系研究科)	低分子化合物				
DNW-17002	LMIR3を標的とするアレルギー・炎症性疾患治療薬の探索	北浦 次郎 (順天堂大学大学院医学研究科)	低分子化合物				
DNW-17003	Src Family Kinaseのがんシグナルに対する新規阻害剤の探索	小根山 千蔵 (愛知県がんセンター)	低分子化合物				
DNW-17006	肥満症及び糖尿病の治療に向けた新規標的分子の探索	藤田 義人 (京都大学大学院医学研究科)	低分子化合物				
DNW-17007	特発性肺線維症治療薬の探索	中村 浩之 (千葉大学大学院薬学研究院)	低分子化合物				
DNW-17008	神経芽腫に対する新規治療剤の探索	榎本 秀樹 (神戸大学大学院医学研究科)	低分子化合物				
DNW-17009	新規骨形成促進剤の探索	小守 壽文 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)	低分子化合物				

# 3. 支援テーマ (61/83件)

## 創薬支援ネットワークの支援テーマ

(平成30年2月末時点)

課題番号	課題名	Principal Investigator (PI)	モダリティ	標的実用化検証	スクリーニング	リード最適化	前臨床開発
DNW-17010	自然免疫応答の脱抑制による新規B型肝炎治療薬の探索	高岡 晃教 (北海道大学遺伝子病制御研究所)	低分子化合物				
DNW-17014	タウ蛋白を標的とした抗体産生を誘導する認知症ワクチンの探索	中神 啓徳 (大阪大学大学院医学系研究科)	ワクチン				
DNW-17016	がん放射線治療の線量大幅低減と予後改善に向けた分子標的増感剤の探索	田内 広 (茨城大学理学部)	低分子化合物				
DNW-17018	癌代謝制御ハブ分子の新規阻害剤の探索	中山 敬一 (九州大学生体防御医学研究所)	低分子化合物				
DNW-17019	染色体転座型癌遺伝子産物に対する新規阻害剤の探索	大内田 守 (岡山大学大学院医学歯薬学総合研究科)	低分子化合物				
DNW-17020	ゼブラフィッシュ創薬による先天性貧血の治療薬の探索	剣持 直哉 (宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)	低分子化合物				
DNW-17021	Hippoシグナル経路の調節による気道上皮分化異常治療薬の探索	大森 孝一 (京都大学大学院医学研究科)	低分子化合物				
DNW-17022	新規抗マalaria薬の探索	東岸 任弘 (大阪大学微生物病研究所)	低分子化合物				
DNW-17023	新規抗真菌剤の探索	知花 博治 (千葉大学真菌医学研究センター)	低分子化合物				
DNW-17025	免疫チェックポイント阻害薬抵抗性がんに対する新規治療薬の探索	西山 成 (香川大学医学部)	抗体				
DNW-13002	神経再生促進作用を持つ脊髄損傷治療薬の探索	武内 恒成 (愛知医科大学医学部)	核酸		*		
DNW-14002	筋変性疾患治療薬の探索	岩田 裕子 (国立循環器病研究センター研究所)	低分子化合物		*		
DNW-14005	新規血液凝固阻害剤の探索	沢村 達也 (信州大学医学部)	低分子化合物		*		
DNW-14007	Ras/Rafシグナル伝達を阻害する新規抗がん剤の探索	島 扶美 (神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科)	低分子化合物		*		
DNW-14010	新規うつ病治療薬の探索	宮田 信吾 (近畿大学東洋医学研究所)	低分子化合物		*		
DNW-14019	新規ミトコンドリア病治療薬の探索	高島 成二 (大阪大学大学院医学系研究科)	低分子化合物		*		
DNW-14020	小胞体ストレス応答を活用した抗癌剤・抗ウイルス剤の探索	森 和俊 (京都大学大学院理学研究科)	低分子化合物				
DNW-14023	緑内障を対象とした神経保護薬の探索	林 秀樹 (東京薬科大学薬学部)	低分子化合物 抗体				
DNW-14024	トランスポータータンパク質を標的とした自己免疫疾患治療薬の探索	反町 典子 (国立国際医療研究センター研究所)	低分子化合物 ペプチド				
DNW-15004	p53を制御する新たなストレス応答を活用したがん治療薬の探索	河原 康一 (鹿児島大学大学院医学歯薬学総合研究科)	低分子化合物				
DNW-15005	低分子量Gタンパク質を標的とする新規がん治療のための核酸医薬の探索	菊池 章 (大阪大学大学院医学系研究科)	核酸				

\* : 採択時のステージからステージアップした支援テーマ

# 3. 支援テーマ (61/83件)

## 創薬支援ネットワークの支援テーマ

(平成30年2月末時点)

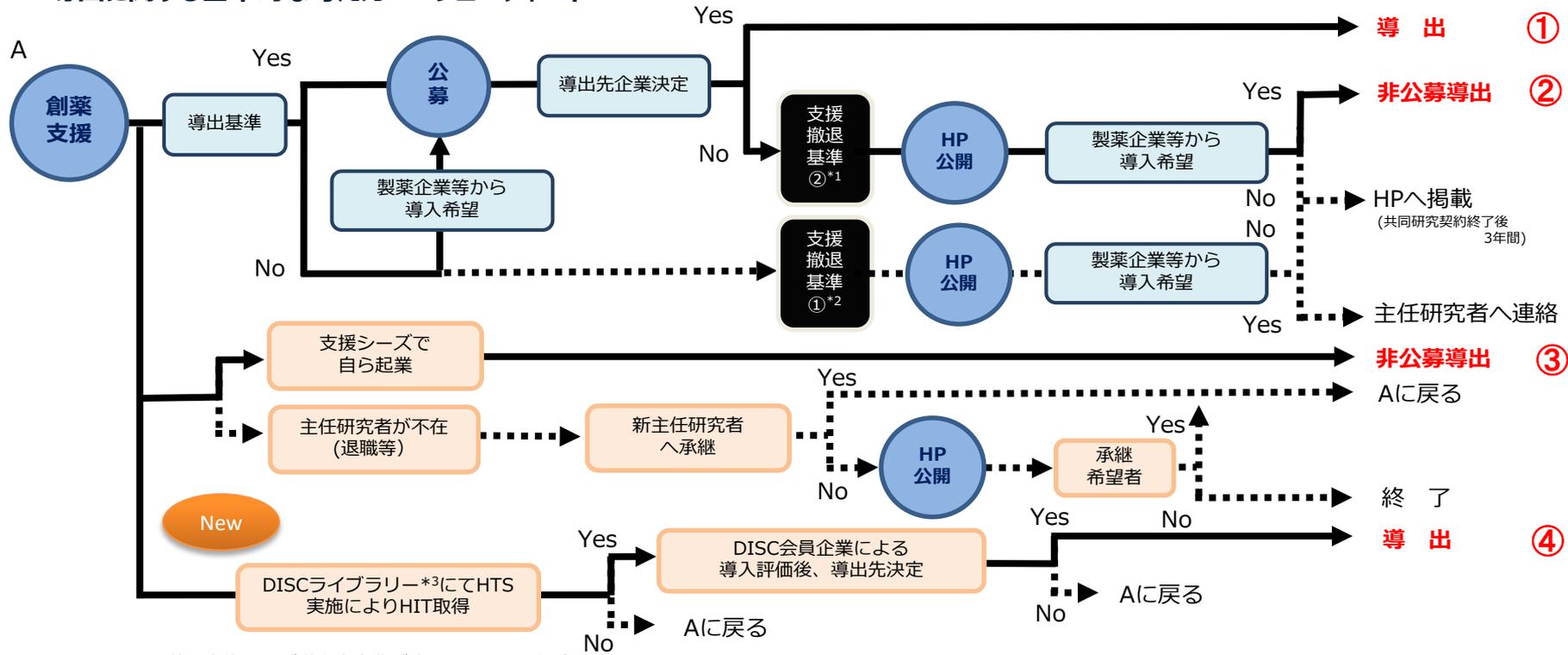
課題番号	課題名	Principal Investigator (PI)	モダリティ	標的実用化検証	スクリーニング	リード最適化	前臨床開発
DNW-15006	筋萎縮症の治療法開発に係る創薬基盤バイオマーカーの探索	山梨 裕司 (東京大学医科学研究所)	低分子化合物				
DNW-15008	先天性無歯症治療薬の探索	高橋 克 (京都大学大学院医学研究科)	抗体				
DNW-15009	miRNAファミリー分子を標的とした尿路上皮癌治療のための核酸医薬の探索	上田 裕子 (大阪大学大学院薬学研究所)	核酸				
DNW-16001	Ras活性化を阻害する新規抗がん剤の探索	松田 道行 (京都大学大学院生命科学研究所)	低分子化合物				
DNW-16002	細胞膜タンパク質を標的とする新規メカニズムがん治療薬の探索	藤 勝己 (大阪大学大学院医学系研究科)	抗体				
DNW-16005	新しい心不全改善薬の探索	北風 政史 (国立循環器病研究センター)	低分子化合物		*		
DNW-17005	色素性乾皮症治療薬の探索	錦織 千佳子 (神戸大学大学院医学研究科)	核酸				
DNW-17011	新規抗インフルエンザ薬の探索	水田 賢志 (長崎大学大学院歯学総合研究科)	低分子化合物				
DNW-17012	アカデミア創薬プラットフォームを活用した抗マalaria薬の探索	平山 謙二 (長崎大学熱帯医学研究所)	低分子化合物				
DNW-17013	タンパク質リン酸化酵素を標的としたポリグルタミン病治療薬の探索	石谷 太 (群馬大学生体調節研究所)	低分子化合物				
DNW-17015	GM1-ガングリオシド-シス脳病態に有効な新規低分子シャペロン治療薬の探索	榎垣 克美 (鳥取大学生命機能研究支援センター)	低分子化合物				
DNW-17017	カルバペネマーゼ等産生多剤耐性菌を抑制する阻害物質および抗菌性物質の探索	荒川 直親 (名古屋大学大学院医学系研究科)	低分子化合物(天然物)				
DNW-17024	微生物由来の非結核性抗酸菌症治療薬の探索	栞田 洋 (北里大学薬学部)	低分子化合物(天然物)				
DNW-14003	熱帯性ウイルスへの新規ワクチンの開発	長谷川 秀樹 (国立感染症研究所)	ワクチン				
DNW-14012	味覚・食感を損ねない長時間作用型口内炎疼痛緩和薬の開発	上園 保仁 (国立がん研究センター研究所)	低分子化合物				
DNW-14013	新規抗生物質の開発	関水 和久 (帝京大学医歯歯菌研究センター)	低分子化合物(天然物)				
DNW-14017	異所性石灰化抑制剤の開発	吉子 裕二 (広島大学大学院歯学保健学研究所)	ペプチド				
DNW-14029	マalariaワクチンの開発	狩野 繁之 (国立国際医療研究センター研究所)	ワクチン				
DNW-16010	環状ホスファチジン酸類似化合物による多発性硬化症治療薬の開発	吉川 圭介 (埼玉医科大学)	低分子化合物				
DNW-17004	新規PD-1免疫チェックポイント阻害剤併用療法の開発	田中 義正 (長崎大学大学院歯学総合研究科)	タンパク質				

\* : 採択時のステージからステージアップした支援テーマ  
赤字 : 前回の協議会以降にステージアップした支援テーマ

## 4. 導出テーマ（一覧及びルート）

課題番号	課題名	主任研究者	モダリティ	導出時期	導出ルート
DNW-15001	新規がん免疫アジュバントの探索	松本 美佐子 (北海道大学大学院医学研究科)	低分子化合物	平成29年3月	①
DNW-14015	がん間質を標的とした抗体・薬物複合体の開発	松村 保広 (国立がん研究センター 先端医療開発センター)	抗体-薬物複合体	平成29年3月	③
DNW-14006	がん細胞DNA脱メチル化酵素を分子標的とするFirst-in-classのがん治療薬の探索	辻川 和丈 (大阪大学大学院薬学研究科)	低分子化合物	平成29年9月	④
DNW-15003	NF-κB標的遺伝子の発現を阻害する抗がん剤の探索	伊庭 英夫 (千葉大学真菌医学研究センター)	低分子化合物	平成30年3月(予定)	①

### 導出に関する基本的な考え方 ～フローチャート～



\*1：公募を実施したが導出先企業が決めなかった場合

\*2：研究仮説が否定された、再現性の証明ができなかった等の理由により、公募に至らなかった場合

\*3：DISC (Drug-discovery Innovation and Screening Consortium) の会員から提供されたライブラリー化合物により構築された化合物ライブラリー

# 5. 支援終了テーマ (22/83件)

資料3(ア)に該当

(平成30年2月末時点)

課題番号	課題名	主任研究者	モダリティ	支援終了
DNW-14008	新規がん治療薬のためのコンパニオン診断薬の探索	目加田 英輔 (大阪大学微生物病研究所)	抗体	平成28年1月
DNW-14018	がんドライバー遺伝子特異的アルキル化剤の開発	永瀬 浩喜 (千葉県がんセンター研究所)	低分子化合物	平成28年1月
DNW-14009	TNIKキナーゼを標的とした大腸がん治療薬の開発	山田 哲司 (国立がん研究センター研究所)	低分子化合物	平成28年8月
DNW-14011	シスプラチン作用増強剤の探索	本田 一文 (国立がん研究センター研究所)	低分子化合物	平成28年9月
DNW-14014	脳梗塞治療を目的としたtPA併用剤の探索	下畑 享良 (新潟大学脳研究所)	タンパク質製剤	平成28年9月
DNW-14021	心臓由来分泌ペプチドを用いた心筋細胞分裂誘導剤の探索	望月 直樹 (国立循環器病研究センター研究所)	ペプチド	平成28年9月
DNW-14004	神経軸索伸展作用をもつ脊髄損傷治療薬の探索	武内 恒成 (愛知医科大学医学部)	低分子化合物	平成28年11月
DNW-14028	小細胞肺がん治療を目的とした核酸医薬の探索	下條 正仁 (大阪医科大学)	核酸	平成28年11月
DNW-14015	がん間質を標的とした抗体・薬物複合体の開発	松村 保広 (国立がん研究センター先端医療開発センター)	抗体-薬物複合体	平成29年3月
DNW-15001	新規がん免疫アジュバントの探索	松本 美佐子 (北海道大学大学院医学研究科)	低分子化合物	平成29年3月
DNW-14016	子宮内膜症に対するペプチド治療薬の探索	杉原 一廣 (浜松医科大学医学部)	ペプチド	平成29年7月
DNW-13001	先天性乏毛症治療薬の探索	青木 淳賢 (東北大学大学院薬学研究所)	低分子化合物	平成29年8月
DNW-13003	がん細胞の酸化ストレス防御機構を標的とする新規抗がん剤の探索	中別府 雄作 (九州大学生体防御医学研究所)	低分子化合物	平成29年8月
DNW-13004	閉塞性動脈硬化症治療を目的とした血管新生促進剤の探索	池田 宏二 (神戸薬科大学)	低分子化合物	平成29年8月
DNW-14001	活性型Ras変異体に作用する新規抗がん剤の探索	片岡 徹 (神戸大学大学院医学研究科)	低分子化合物	平成29年8月
DNW-14006	がん細胞DNA脱メチル化酵素を分子標的とするFirst-in-classのがん治療薬の探索	辻川 和丈 (大阪大学大学院薬学研究所)	低分子化合物	平成29年8月
DNW-14027	多剤耐性菌に対する新規クラスの抗菌剤の探索	平松 啓一 (順天堂大学大学院医学研究科)	低分子化合物	平成29年8月
DNW-14022	二ーマンピック病C型治療薬の開発	江良 択実 (熊本大学発生医学研究所)	低分子化合物	平成29年9月
DNW-14026	組織再生に向けた表皮幹細胞制御因子発現調節剤の探索	西村 栄美 (東京医科歯科大学難治疾患研究所)	低分子化合物	平成29年9月
DNW-15007	アルツハイマー病を対象としたGAB $\beta$ 阻害薬の開発	河合 昭好 (国立長寿医療研究センター)	低分子化合物	平成29年9月
DNW-16013	S期チェックポイント阻害に基づく新規癌治療薬の探索	正井 久雄 (東京都医学総合研究所)	低分子化合物	平成29年12月
DNW-16011	サルコペニア治療法の探索	土田 邦博 (藤田保健衛生大学総合医科学研究所)	低分子化合物	平成30年2月

: 前回協議会までに報告したテーマ

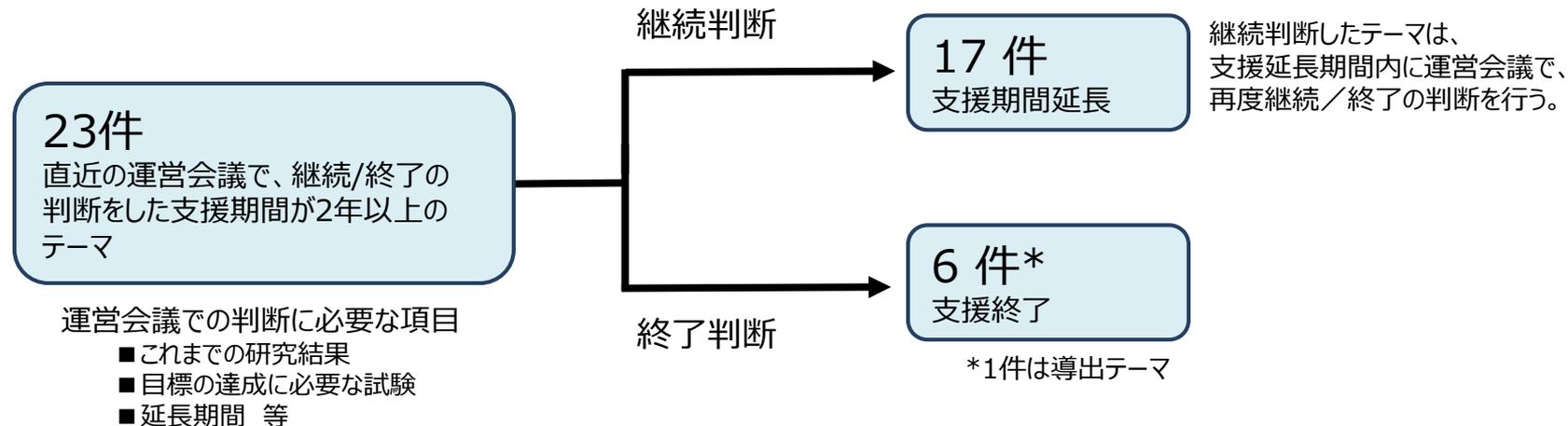
: 導出したテーマ

## 6. 支援期間が2年以上のテーマの取扱い

資料3(ア)に該当

(平成30年3月9日時点)

研究開発計画の策定時に設置したステージアップ予定時期（最長2年）から遅延が見込まれる場合、四半期に一度開催する創薬支援ネットワーク運営会議において、目標の達成に必要な試験や、そのための期間等の妥当性を協議し、議長は支援撤退も含めて基準に基づき、継続/終了の判断を行うこととしている。



## 7. 報告事項

### 1) 支援テーマの外部支援としてのCRO選定機能の強化

資料3(工)に該当

#### 〔問題点〕

一般競争入札にてCRO(Contract Research Organization)等を選定し、プロジェクトを推進しているが、適切なCRO等の選定について、AMEDだけでは限界がある

#### 〔今後〕

適切なCRO等の選定能力を有する外部機関を公募により選定し、AMEDと連携して選定機能を強化するとともに、**公募によって選定した適切な外部機関に創薬支援を依頼**することで、効果的な創薬支援が実施可能な体制を構築する



- ① 案件の内容に適切なCRO等の事前情報収集
- ② CRO等の施設・技術の確認（視察等）
- ③ 仕様（業務内容・各種条件）\*1を検討
- ④ 候補となるCRO等より参考見積書の受領
- ⑤ 入札公告後、提出書類等の確認・審査\*2
- ⑥ 入札・開札

- ⑦ （必要に応じて）低入札価格調査
- ⑧ 落札
- ⑨ AMEDとCRO等が委託契約締結
- ⑩ データ等の取得、AMEDへ納品
- ⑪ 外部機関がCRO等を選定\*5、もしくは外部機関自らが支援を実施
- ⑫ 外部機関とCRO等が委託契約締結\*3
- ⑬ データ等の取得、バリデーション等\*4

\*1 仕様書に記載している内容：業務の内容、受注者の条件（創薬支援能力：設備・技術・経験）、調達の条件、納入期限 等

\*2 入札公告～入札までに確認する内容：国の競争参加資格の有無、履行実績、参考見積、技術審査における提案書 等

\*3 @で外部機関自らが支援を実施する場合は、CROとの委託契約締結はしない。

\*4 AMEDとの連携の下、外部機関とCRO等が一体となって実施

\*5 株式会社LSIメディエンス

## 7. 報告事項

### 2) 創薬シーズ実用化支援基盤整備事業（創薬支援推進ユニット）

#### 【問題点】

世界の科学技術革新により多様化された医薬品開発の現状を踏まえると、最先端の新規モダリティの活用や製薬企業により出口目線で検証されたアカデミア発創薬シーズの収集等については、AMED及び3独法との連携体制だけでは限界がある。

#### 【今後】

創薬支援に必要な多岐にわたる最新、最良の科学技術を保有する産学官の研究開発機関を公募により選定し、研究開発や情報発信事業の実施により創薬支援ネットワークの機能強化を図り、アカデミア発創薬シーズの実用化を加速する。

ユニット名	代表機関	実施内容
イノベーションエンジン (一気通貫CRO等)	アクセリード ドラッグディスカバリー パートナーズ株式会社	データ取得及びそのためのプロトコール提案等を通じた再現性の確認、信頼性の高いデータセットの収集
イノベティブ創薬支援 (遺伝子治療/ワクチン)	国立大学法人東京大学 医科学研究所	遺伝子治療用ベクター及び遺伝子組換えウイルスの製造基盤整備、次世代ワクチンの開発支援基盤整備
エコシステム (シーズ提案等)	大阪商工会議所	出口目線で検証されたアカデミア発創薬シーズを創薬支援ネットワークに供給（DSANJの仕組みを活用）
キャタリスト (情報発信等)	国立大学法人東京大学 農学生命科学研究科	創薬支援ネットワークをはじめとする医薬品創出プロジェクトについての情報発信拠点を整備
スタートアップ (起業整備等)	Beyond Next Ventures 株式会社	創薬支援ネットワークの支援テーマ（創薬シーズ）の事業化に必要な人材プールの構築、創業チーム組成等の創業支援
バイオ製造支援 (バイオプロセス等)	次世代バイオ医薬品 製造技術研究組合	バイオ医薬品シーズの製造可能性に向けたプロセス開発等の実施
プロモーター (CRO調整)	株式会社LSIメディエンス	創薬シーズの評価やデータパッケージの構築に必要な非臨床データ（GLPデータ）の取得等に係るCRO調整業務

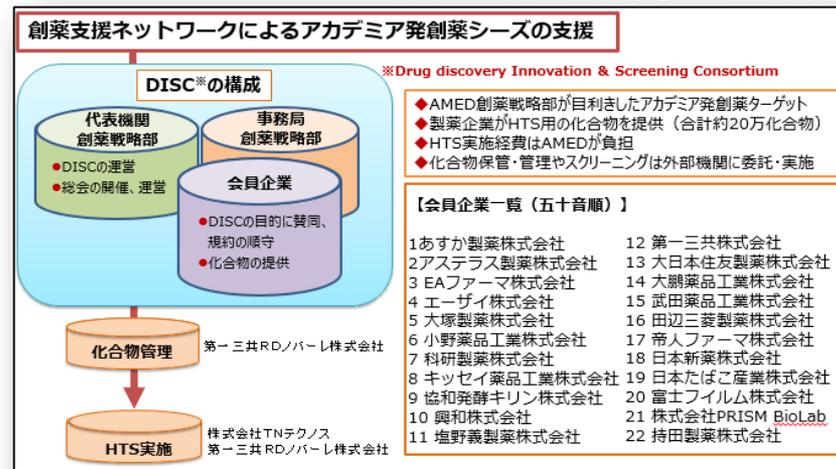
## 7. 報告事項

### 3) DISC運用上の問題点と対応について

「第6回創薬支援ネットワーク協議会」より抜粋（一部改変）

#### DISCの実績

HTS実施数	企業導出達成	企業導出検討中
4テーマ	1テーマ (DNW-14006)	3テーマ



#### 問題点

①	会員企業によるシーズ導入評価プロセスに時間がかかり、非効率的である。
②	企業が導入しない場合には、アカデミアではツール化合物 <sup>※1</sup> を使用できない。
③	前受業務、化合物管理業務、スクリーニング業務をCROに委託する際に、AMEDと各々のCROで一年毎に契約を行う等、煩雑な事務作業が多い。
④	DISCライブラリーと次世代創薬シーズライブラリーが別々に管理され、DISCで次世代創薬シーズライブラリーを容易に活用できない。

#### 対応

→	iD3は委託により、HTS、高次評価によるヒット確定に加えて、希望する企業に対しシーズ導入（二次判断）を目的とするヒット周辺化合物の評価も一環して実施する。これにより、導入評価プロセスの時間を短縮する。
→	iD3はDISCライブラリーのケミカルスペースのうち、企業化合物で埋められないスペースを購入化合物で満たし企業化合物と共にHTSの対象とする。これにより、導入不成功時にも、購入化合物から得られたヒット化合物を研究者にツールとして提供することが可能となり、研究の進化に貢献できる。
→	化合物管理業務とスクリーニング業務等が可能なCROを創薬支援推進ユニットとして公募し、一括して業務を実施する。これにより、AMEDの事務作業 <sup>※2</sup> を簡素化する。
→	次世代創薬シーズライブラリーとDISCライブラリーをAMEDの創薬支援推進ユニットの管理ライブラリーとして一括管理する。これにより、DISCのHTSにおいても次世代創薬シーズライブラリーの活用が容易となる。

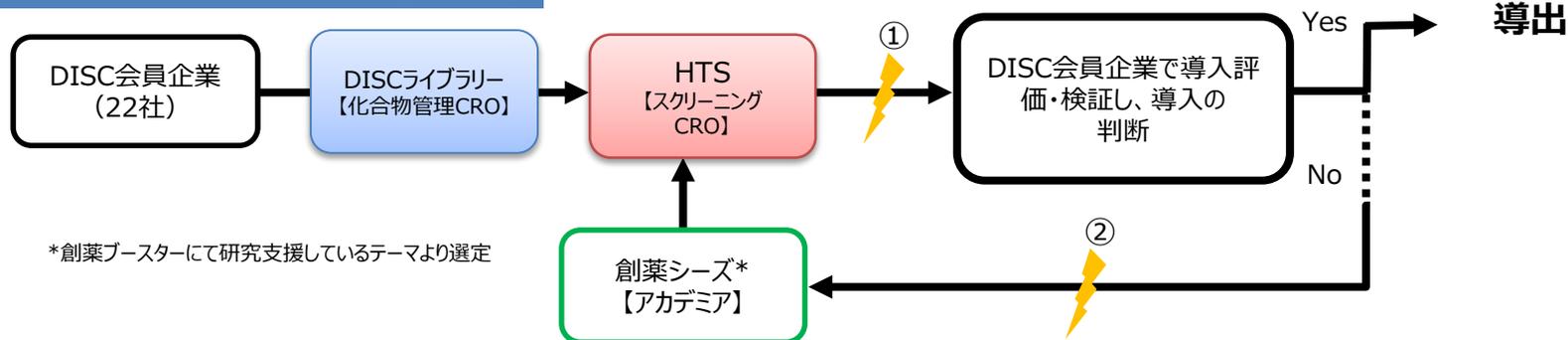
※1：ツール化合物：研究者が研究に用いることができるヒット化合物と同等程度の活性を持つ化合物

※2：秘密情報を含むDISC代表機関業務（運営に関する意思決定、DISCテーマ選定、導出支援等）は、引き続きAMEDが実施

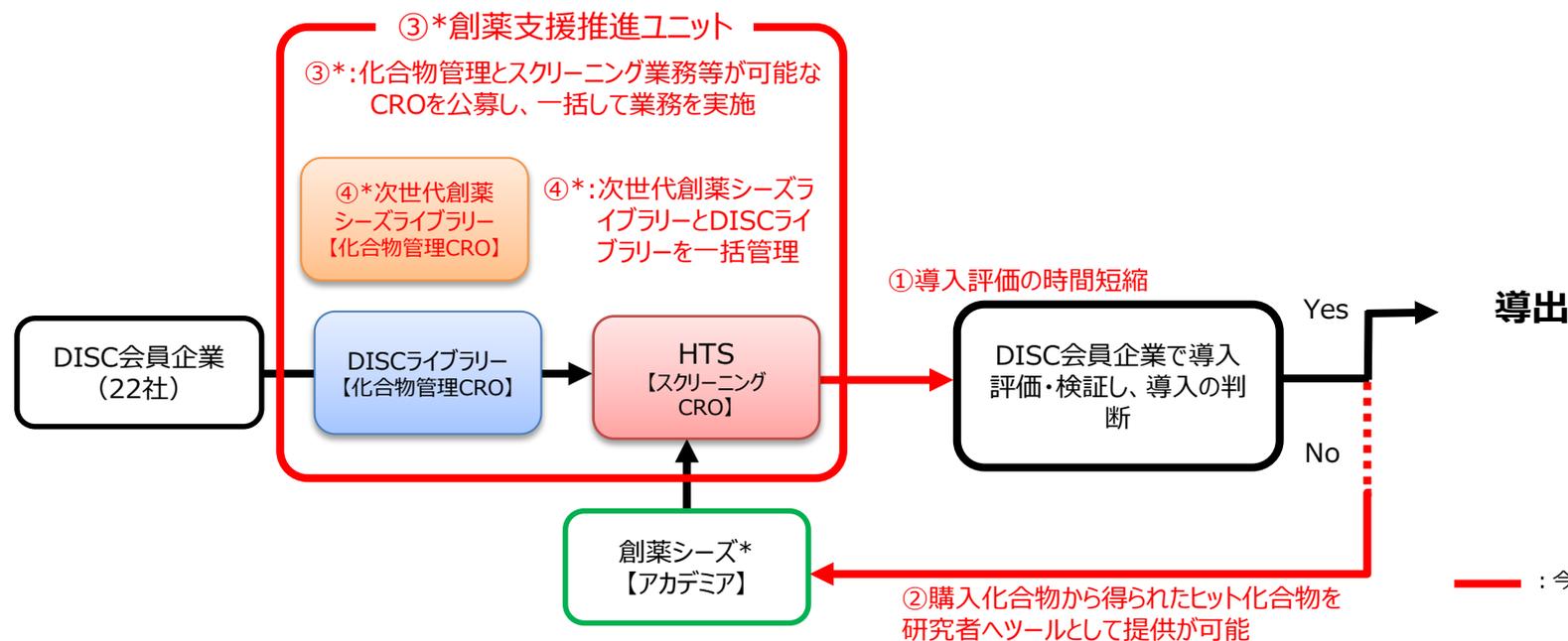
## 7. 報告事項

## 3) DISC運用上の問題点と対応について

## DISCを活用した創薬支援の流れ(対応前)



## DISCを活用した創薬支援の流れ(対応後)



## (参考) 次世代創薬シーズライブラリーについて

### 創薬支援ネットワークによるアカデミア発創薬シーズの支援

#### 次世代創薬シーズライブラリーの構成

##### 代表機関 創薬戦略部

- 次世代創薬シーズライブラリーの運営
- 運営規程の整備

##### 事務局 創薬戦略部

##### 協力企業

- 化合物の提供
- 次世代創薬シーズライブラリーへの協力

化合物管理  
〔化合物管理CRO〕

スクリーニング  
創薬ブースターで採択された標的  
〔スクリーニングCRO〕

SAR解析等  
〔構造展開ユニット〕

ヒット化合物の選定  
〔代表機関〕

最適化研究  
〔構造展開ユニット、  
又は協力企業と共同〕

製薬企業等への導出

#### ◆次世代創薬シーズライブラリー構築の目的

蛋白質-蛋白質相互作用の阻害が期待できる化合物ライブラリーを独自に設計・構築し、従来のライブラリーの課題を克服できる可能性のある中分子化合物等によるライブラリーの構築を目指す。

#### ◆次世代創薬シーズライブラリーの概要

- ・平成27年度から創薬基盤推進研究事業で「次世代創薬シーズライブラリープロジェクト」が開始された。
- ・平成31年度までに、中分子化合物を合計30000化合物合成する予定である。
- ・構築したライブラリーは、将来的にはDISCライブラリーと共に管理し、創薬支援推進事業（創薬支援ネットワーク）で活用する。

#### ◆現状

- ・平成28年度までに新規の12,000化合物が合成され、創薬支援ネットワークで活用できる状況になった。
- ・本ライブラリーに適した創薬シーズが出てきた際に、本ライブラリーを用いてスクリーニングを実施する予定である。